

農地・水・環境保全向上対策

伊勢寺地域環境保全向上活動をする会 研修会 開催



研修会の様子



去る3月19日（金）に農地・水・環境保全向上対策に取り組む「伊勢寺地域環境保全向上活動をする会」が、松阪市伊勢寺町公会堂において機能診断・補修技術の研修会を開催し、運営役員、推進委員他21名の構成員が参加した。

本研修会は平成21年度の年間計画の一環として実施されたもので、加藤会長の挨拶の後、水土里ネットみえの岡課長補佐より講師の紹介があり、研修会に入った。

まず、水土里ネットみえの岡課長補佐より「農業水利施設のコンクリート構造物診断と補修」と題して、用水施設の機能と性能を維持するための日常点検、変状の原因の推定・特定、そして対策の判定を人間の病気に例え分かりやすく説明を受けた。そして施設に対するあらゆる初期欠陥、劣化、損傷の種類と原因に基づいた機能回復の手法で自らができる簡易的な補修工法が紹介された。

次に日本ホーバス（株）の田熊課長代理より、コンクリートパネルを用いた目地補修工法の紹介があった。官民一体で開発された大規模水路の補修工法であり、メーカーで製造される寸法が一定であるため、経済的負担が増となる。しかし、実際現場ではあらゆる断面に対応しなければならないため、加工時に派材が発生する。その派材を断面の小さい水路への補修に活用することが紹介された。このことはメーカー側にとっても廃棄せず製品として扱うことができ、ユーザー側にとっても経済的なものとなるため、両方にとり満足できる製品であることを力説された。

引き続き、原商事の原代表、（株）エフイーエスの伏見代表より水路機能回復工法の一つである目地補修についての工法が紹介された。参加者に配付されたテキストで紹介されていた防水材料を用い、実際に補修されたU字溝をもとに分かりやすく説明された。参加者でも簡単にできる工法であるため休憩時には補修されたU字溝を囲み、講師との活発な質疑応答がなされ、自ら手でなぞり、接着状況を確認していた参加者もいた。

参加者は、地域での自主的な機能診断や簡易補修をテキストと併せパワーポイントで分かりやすく説明を受け、熱心にメモを取るなど有意義な研修会であった。



講師より説明を受ける参加者